

一般質問

渋谷正文
(ふらの未来の会)

高校の通学環境の改善

問 通学状況の把握と対策は。

答 美瑛・旭川間を運行している列車の富良野までの運行区間の拡大については、幅広く地域での利便性向上のためにも継続して要望する。美瑛止まりの列車については、美瑛駅でのふらのバスへの乗り換え接続について、保護者等に周知したい。

高校進学者の確保

問 平成25年度より富良野高校に導入される単位制の独自色は。

答 生徒の進路希望を実現する魅力ある学校づくり、地域の特色を生かした教育の推進など、富良野圏域の最高学府としての富良野高校のパワーアップを図り、魅力ある高校教育の実現に向け、特に演劇・自然環境教育の科目設置を要望している。

問 生徒及び保護者に対する単位制周知の状況は。

答 富良野市PTA連合会での

研修会や地域懇談会での説明、保護者などへ市内2高等学校の説明会を実施している。今後においても、教育課程が決定次第市広報等を通じて周知を図る。

黒岩岳雄
(ふらの未来の会)

富良野地方の活断層は

問 富良野活断層についての認識と対策及び広報活動を通じての市民啓発、観光滞在者への対応と地域での防災訓練は。

答 富良野活断層帯西部及び東部の存在が確認されている。新年度は、広報に地震の各種情報記事を掲載予定。市ホームページには「揺れやすさマップ」を掲載。また、市内建築物の耐震性向上、耐震補強など地震への備えを啓発する。災害発生時の情報伝達の手法として、エリアメールサービスの導入、観光宿泊者の多い北の峰地区での避難誘導訓練は重要である。観光関係者や地域住民と共に、実施の可能性を模索したい。

防災に対する学校教育

問 自分自身を災害から守る教育について。

答 地震や台風災害等の被災防止のための防災教育に努めている。

る。大災害の発生時「自分の命は自分で守ること」を基本に、登下校中の避難場所や経路の確認と、校外での学びを通じた地域の絆づくりにも取り組む。



西中学校防災教室風景

富良野の将来展望は

問 人口減少について、減少を穏やかにするための施策は。

答 本市の経済基盤である、将来的にも普遍の食料基地としての農業の安定的発展と、外貨を導く交流人口を確保できる観光を、将来に渡り持続させることは重要と考える。人口減少へのシミュレーションを実施し課題を明確化し、多岐に渡る施策の検証と長期的な展望を創造し、速やかに実践すべきと考える。